



雪崩・地すべり 研究センターたより

年3回発行・第72号
2015. 11月発行

Snow Avalanche and Landslide Research Center, Erosion and Sediment Control Research Group

主な記事 ・トピックス(妙高地区治水砂防協会 雪崩・地すべり研究推進協議会合同研究発表会、学会の研究発表会、など)・地すべり対策に関連する機器の改良・開発 ・ニュートンのリンゴの木

トピックス

■妙高地区治水砂防協会 雪崩・地すべり研究推進協議会 合同研究発表会

7月21日に新潟県妙高市で開催され、新潟県上越地方の建設業及びコンサルタント等の技術者90名が参加しました。研究発表は、新潟県上越地域振興局妙高砂防事務所の堀川さんが「上小沢地区地すべり災害について」、当センターの池田が「平成26年度冬期の雪崩発生事例」、丸山が「地すべり地における地下水排除施設集水管の閉塞防止法に関する研究」と題して各々行われました(写真-1)。



写真-1 合同研究発表会

■学会等の研究発表会

表-1には当センターの職員が参加した8~11月に開催された学会等を、表-2には研究発表のタイトルをそれぞれ示しました。この期間に6件の学会等が開催され、18件の研究発表を行いました。

表-1 参加した学会等

学会等	開催日	開催場所
日本地すべり学会「第54回研究発表会」	8月26~27日	山形市
日本雪氷学会、日本雪工学会「雪氷研究大会」	9月13~16日	松本市
全国地すべりがけ崩れ対策協議会「第69回研究発表大会」	10月22~23日	福島市
「第31回日本道路会議」	10月27~28日	東京
日本気象学会「2015年度秋季大会」	10月28~30日	京都市
「第31回寒地技術シンポジウム」	11月4~6日	札幌市

表-2 研究発表のタイトル

学会等	タイトル	発表者
地すべり学会	平成27年4月に新潟県上越地方で発生した地すべり	石田孝司
	地下水排除施設集水管の閉塞防止法に関する検討	丸山清輝
	融雪水の浸透が地すべり地の地下水流動層に与える影響	桂 真也
	2014/2015冬期の気象・積雪と融雪水の地中浸透	秋山一弥
雪氷研究大会	連続体モデルを活用した雪崩防護工設計諸元設定手法について	石田孝司
	低気圧の通過に伴う降雪によって形成された弱層の観察事例	池田慎二
	山梨県河口湖周辺における大雪事例と雪崩発生について	松下拓樹
	積雪モデルを用いた湿雪雪崩発生の推定について	松下拓樹
全国地すべりがけ崩れ対策協議会研究発表大会	2014年2月の関東甲信大雪時に発生した雪崩の抵抗係数の検討	池田慎二
	融雪地すべりの到達距離と発生箇所的地形的特徴に関する検討	丸山清輝
日本道路会議	雪崩対策施設点検の手引き案の作成について	松下拓樹
	雪崩対策施設点検の海外における取り組みと国内への導入について	松下拓樹
日本気象学会	2014年2月の大雪時の雪崩発生条件に関する一考察(3)	松下拓樹
	低気圧の通過に伴う降雪結晶弱層の観察	池田慎二
寒地技術シンポジウム	連続体モデルの雪崩防護施設設計諸元設定への適用	石田孝司
	2014年2月の関東甲信大雪時に発生した雪崩の運動の特徴	池田慎二
	湿雪雪崩の発生評価における積雪モデルの活用について	松下拓樹
	湿雪の引張強度と圧縮強度を推定する手法について	松下拓樹



写真-2 日本地すべり学会研究発表会



写真-3 全国地すべりがけ崩れ対策協議会
研究発表大会

■砂防学会シンポジウム

10月14日に砂防学会シンポジウムが、「人口減少時代の国土・地域づくり」というテーマで三重県津市において開催されました。当センターの石田所長が、パネルディスカッション「人口減少時代における土砂災害の減災に向けての基礎的・応用的研究、技術開発」にパネリストとして参加し、「地域防災のための協働システム構築に向けて～四国山地砂防事務所が地域と協働して実施した事例～」と題して話題提供をしました。

■全国地すべり現地討論会

10月28～30日に、平成27年度第46回全国地すべり現地討論会が、石川県能登町で開催されました。この会は、技術力の向上を図ることを目的として、都道府県の地すべり対策事業に携わる職員が参加し、毎年開催されています。なお、参加者は29名でした。今回のテーマは、「地すべり調査、解析及び対策工法検討の立案について」でした。内容は、複数から成る小規模な地すべり地について、地すべり調査結果から地すべりブロック及びすべり面を推定し、対策工法を立案するほか、現地を把握した上で、既往対策工についての課題を抽出するとともに、改善策について検討するというものです。助言・指導は、土木研究所の地すべりチームと雪崩・地すべり研究センターの職員4名が行いました。

当センターでは丸山が参加し、地下水排除施設である横ボーリングの集水管内のカメラによる点検と、当センターが開発を進めている集水井内観察カメラによる集水井内の点検の実演を行いました(写真-4)。



写真-4 集水井内観察カメラの実演

地すべり対策に関連する機器の改良・開発

当センターでは、地すべり調査に用いる計測器と地すべり防止施設の維持管理に用いる機器の改良・開発を行っています。前者については、地すべり斜面内の地



写真-5 集水管閉塞防止器

下水流動層の深度を調査する加熱式地下水検層器があります。後者については、地下水排除施設の機能維持に用いる集水管閉塞防止器、集水井内の点検に用いる観察カメラがあります。写真-5は、地下水排除施設の横ボーリングに装着した集水管閉塞防止器です。これは、獅子脅しの動作を応用して、集水管に付着する閉塞物を洗い流すものです。

ニュートンのリンゴの木

写真は、11月5日のリンゴの木の状況です。今年も、H23-H24の積雪による枝折れの影響が続いており、りんごの実は付きませんでした。来年の豊作に期待します。



雪崩・地すべり研究センターに関する記事は、ホームページにも掲載してありますので、ご覧下さい。

発行: 国立研究開発法人 土木研究所 つくば中央研究所
土砂管理研究グループ 雪崩・地すべり研究センター
住所: 〒944-0051 新潟県妙高市錦町2-6-8
TEL:0255-72-4131 FAX:0255-72-9629 URL: <http://www.pwri.go.jp>
掲載内容は、現時点までの調査結果等に基づいています。今後の調査研究により、内容の一部または全部に変更が生じる場合があることをご了承下さい。

